

抗てんかん薬「イーケプラ」を 服用される患者さんにご家族の方へ

患者さん向け服薬指導せん

抗てんかん薬「イーケプラ」を服用される患者さんにご家族の方へ

「イーケプラ」は、抗てんかん剤と呼ばれるグループに属するお薬です。脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかん発作を抑えます。このお薬は、指示どおりに服用し続けることが重要です。体調が良くなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりしないようにしましょう。

お薬を服用する前に確認いただきたいこと

次のような方はこのお薬を服用することはできません。

- 以前にイーケプラ錠に含まれる成分やピロリドン誘導体(ピラセタム(ミオカーム内服液33.3%))を服用して過敏な反応を経験したことがある人

次のような方は服用する前に必ず担当の医師または薬剤師に伝えてください。

- 以前にお薬を服用してかゆみや発疹などのアレルギー症状を経験したことがある人
- 腎臓に障害のある人
- 肝臓に重い障害のある人
- 妊娠または授乳中の人
- 他にお薬などを使っている人（一般用医薬品や食品を含めて）

お薬の服用中に気をつけていただくこと

- てんかん発作が悪化したり、てんかん重積状態*があらわれたりすることがあるので、自分の判断で服用する量を減らしたり、服用するのをやめたりしないでください。服用を中止する場合には、医師の指導で少なくとも2週間以上かけて徐々に減量されます。

* てんかん重積状態：てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態

裏面もご参照ください。

お薬の服用中に気をつけていただくこと（続）

- 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。

- 患者さん、ご家族などの方は、ちょっとした刺激で気持ちや体の調子が崩れる、意識が乱れる、考えがまとまらない、いらいらする、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの精神症状があらわれ、死にたいという気持ちになる可能性があることについて、医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。

- **患者さんへ**：攻撃的になる、死にたいという気持ちになるなどの精神症状があらわれた場合、医師に相談してください。もし、気分に変化があったと感じた場合には、ご家族などの方にも伝えるようにしてください。
- **ご家族などの方へ**：患者さんの状態の変化について観察して、変化が見られた場合には医師に連絡してください。

- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- 授乳中の人は授乳を避けてください。

- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、くすりのしおり、患者向医薬品ガイド、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

